



サッカー習う息子への助言に悩む

サッカーを習う小学5年の息子への声がけや関わり方を教えてください。

私は学生時代サッカー部に所属していました。息子と同じスポーツを楽しめるのがうれしく、一緒に練習し、審判の資格を取るなどしてサポートしています。

ただ、息子のプレーを見ると、どうしても口を出したくなります。サッカー好きの息子ですが、「上手になりたい」と言う割に自主的に練習しませんし、同じミスを繰り返します。

試合後は良いプレーを褒めつつアドバイスするので、小言に聞こえるのかいつもけんかになるのが悩みです。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー



仙台市青葉区
40代・会社員
からの質問

●回答してくれた人 千葉 陽子さん

ちば・ようこ 仙台市出身。筑波大学院人間総合科学研究科博士後期課程修了。日本スポーツ振興センター(JSC)などを経て2021年から宮城学院女子大学心理学部助教。専門はスポーツ心



全身全霊で息子さんをサポートされている様子が伝わってきました。お父さんの歯がゆさ、よく分かります。

スポーツ界では、自分で考えて行動する選手が躍進しています。主体性を育むためには、保護者が何をしてあげるかではなく、何を「しない」かを考えてみるのが出発点になるかもしれません。

息子さんは小学5年。心理的発達においては、プレーについて内省し、自分の考えや感情を言語化するのはまだまだ難しい時期です。また、コーチと親が違うことを言った場合、整理できず混乱してしまいます。

アドバイスする場合は「どう思った？」などと声がけをし、

自分で考える力育てて

息子さん自身に考えさせるのはどうでしょう。答えられない場合は「お父さんはこう思うけど、どう？」と選択肢を与えるのも一つです。出てきた答えを否定せず、言語化させるのに徹することがポイントです。

そして「今できることは何か」という視点ではなく、「次の年代に移行していくために、何を経験しておくべきか」という中長期的な視点を持つことも大事です。

スポーツは成績に一喜一憂する世界。「どんな自分でも受け止めてくれる存在」が保護者の役割です。その存在が競技力向上の下支えになるはず。サッカーが好きという気持ちを大切にしたいですね。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社 子育て・教育相談係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp



子どもたちの学力向上に！

河北新報の 出前授業

活用しませんか

教育に新聞を活用するNIE活動に取り組む学校が、年々増えています。新聞は子どもたちの学力向上、読解力アップにつながります。河北新報社は、新聞活用を後押しするため、社員による出前授業を行っています。



出前授業 主なメニュー

新聞の読み方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
新聞を5分で読む方法、インターネットとの違いなどを説明。新聞を読み比べ、多様な考えがあることも学べます。

文章の書き方 (中学生以上) **楽しく実践**
新聞記事は分かりやすい文章のお手本。記事の書き方の基本を学ぶことは、伝わりやすいレポートやビジネス文書作成に役立ちます。

まわしよみ新聞 (全世代向け) **楽しく実践**
気になった記事を切り抜いて紙に貼り、選んだ理由を発表します。多様な視点や考えがあることを学べます。

報道写真の役割 (全世代向け) **震災学ぼう**
写真専門記者が震災現場などの写真を素材に、報道写真の役割を説明。効果的な写真の撮り方も学べます。

新聞の作り方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
修学旅行新聞や学級新聞の作り方を説明。取材方法、記事の書き方、効果的なレイアウトを紹介しします。

防災ノウハウ (全世代向け) **震災学ぼう**
地域巡回防災ワークショップ「むすび塾」担当記者が、地域の防災力を高めるノウハウを紹介しします。

※上記は出前授業の一例です。内容はご相談ください。

河北新報 出前授業



お問い合わせ先:河北新報社 防災・教育室 | TEL:022-211-1309 FAX:022-211-1339
E-mail:kyopro@po.kahoku.co.jp

出前授業メニュー一覧はwebでご覧いただけます

